

～健康のまち行動計画策定にむけて～

「ウェルネス・アクションつる」その3

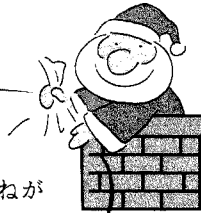
あなたにとって健康のまちとは…

「あなたが普段生活している中で思う、健康なまちってどんなまちですか？」

健康のまち行動計画策定のための取り組みを、市民の皆さんの意見を伺いながら積極的に進めています。市民懇話会が2回開催される中で、「幅広く意見を聞いていきたい」と提案され、アンケートを取ることにしました。各コミュニティーセンター、YLO会館、うぐいすホール、市役所などに用紙を用意してありますので、ぜひ、あなたの思いをお聞かせください。ご協力をお願いします。

「ね・が・い」

第2回市民懇話会のテーマは「ねがい」でした。それぞれが暮らしの中の思いやねがいを話し合いました。



介護者の立場からCさんの発言

「笑顔のあふれるまち都留」が理想とするまち、介護疲れで笑顔を失っていく自分を支えてくれたのは、周囲で励まして勇気づけてくれた、多くの仲間、親戚、市役所、社会福祉協議会の方でした。「いいおせっかい」と言われるかわりをもっとたくさん持てるようにしたいと思っています。また、今、小・中学校で総合教育の取り組みが始まっているようですが、人の痛みのわかる心の教育は必要ですね。

介護者の立場からDさんの発言

介護者、本人にとってもホームドクターの存在は偉大です。身近で、気軽で、総合的に診てくれる先生は重要だと思っています。また、車椅子を押して安心して散歩できる公園があったらいいなと思います。とにかく「健康にまざる宝なし」を実感しています。

障害者の立場からAさんの発言

—Aさんはトーキングエイドを使って足の指で言葉を作って、気持ちを伝えてくれました。—
私の夢、それは車椅子で電車に乗って、安心して、デパートに買い物に行けることです。そして、キンキキッズのコンサートにも行けることです。お友達もほしいな。今の友達は週2回来てくれるヘルパーさん。たくさん話も聞いてくれるけれど、わたしは、同年代の例えば、都留文科大学の学生さんみたいな友達もほしいなと思います。

病気の後遺症を持つBさんの発言

脳梗塞の後遺症を持ちながら生活しています。再発の恐怖をいつも持っています。いつでも予防について学習できたらいいなと思います。道路ももっと歩きやすくなったらいいなと思っています。

高齢者の立場からEさんの発言

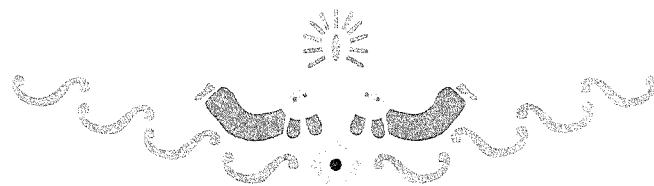
高齢者は歌が好きです。音楽の指導を身近でしてくれる人がいたらいいなと思います。そして、話をすることがいいことです。話は一人ではできません。友達が大量いるといいですね。

子どもを地域で見守る立場からFさんの発言

社会の変化に伴って子どもの心や体の発達の障害を感じています。生活の合理化の中で、子ども達はあてにされなくなっているのではないかしら…。学校でも子どもの置かれている現状は厳しくなっていると思います。でも、子どもへの対応は遅れているように思います。

障害者の家族であるGさんの発言

具合が悪くなったり、虫歯になった時、すぐ身近な先生にみてもらえるといいですね。また、まち全体が何でも言い合える、支え合える家族ぐるみのようなまちであつたらいいですね。



こんな「ねがい」や「夢」をあなたもアンケートに話してみませんか— 問合先 健康推進課 保健指導担当

介護保険



介護保険の出前説明会の様子

▼出前講座、一〇〇〇人突破！
市の健康推進課では、介護保険の出前説明会を開催しています。本年四月からは生涯学習課の「ふれあい講座」とタイアップし、延べ四十五団体、一〇〇〇人以上の方々と膝を突き合わせて、制度や保険料について説明し、意見交換を行ってまいりました。
自治会、老人クラブ、婦人学級などのほか、気の合う仲間同士の小グループの集まりにも、都合さえ合えば出かけていきます。どうぞお気軽にご相談ください。

▼準備着々、要介護認定
事前調査などで把握済みの方々については、申請の手間を省略し、調査と同時に申請を受け付ける都留市方式「申請出張サービス」で、現在、着々と認定事務を進めています。事前調査後、要介護状態になった方や事前調査にお伺いしていない方は、市福祉事務所高齢者総合相談窓口へご連絡ください。

▼特養老人ホーム入所希望の方へ
来年四月一日以降、特別養護老人ホームへの入所を希望される方で、まだ、申請の済んでいない方は、市福祉事務所へご相談ください。